

おもしろ教室だより

令和7年7月発行

No.161

三川少年少女

発明クラブ事務局

令和7年度 開講式



5月15日(木)午後6時30分からテオトルで開講式を行い、今年度の計画やクラブの説明を聞いて、24人のクラブ員が活動をスタートさせました。一人ずつマイクで今年度の目標や、入会したきっかけ、楽しみにしている活動などを発表し、発明クラブでしか体験できないことを楽しみにしている様子でした。



開講式後のアイデア教室では、公益社団法人発明協会から贈られた冊子「アイデアを伸ばそう」の中から、インスタントラーメンとカップヌードルの誕生秘話を通して、発明品が生まれるときのアイデアの発展や知的財産についての解説を行いました。土田会長は、実際にカップヌードルの断面を作って見せてくれました。みんなも自分のアイデアを作品にしましょう！指導員一同、どんなアイデア作品が生み出されるのかを楽しみにしているよ。

アイデア作品づくりの流れ

※分からないことがあったら、遠慮なくお電話や LINE ください。





ものづくり体験〈寄木細工〉



5月24日(土)の活動日は、ものづくり体験として寄木細工に挑戦してみました。知らない人の方が多かったので、江戸時代からあるといわれる寄木細工の特徴やデザイン性などのお話を聞いてから、どんなデザインの何を作るのかを考えました。小さな木材を組み合わせて、箱・スイッチスタンド・インテリア・ベッドなど、さまざまなデザインをすることで発想力を磨きました。



鶴岡少年少女発明クラブとの合同活動

自動車解体体験

～ 仕組みを学ぼう ～

バラバラに
されました



6月28日(土)は鶴岡クラブと合同活動で、山形県自動車販売店リサイクルセンター庄内事業所のみなさんのご協力により、自動車解体体験を行いました。

最初に、エアバッグを作動させるところを見せてもらい、爆音とともに作動するその速さと煙とにおいを間近で体験すると、クラブ員のみなさんは目を丸くしてとても驚いていました。

次は、いよいよ解体開始！三川クラブは2組に分かれて、それぞれの軽自動車の“ぶっこわし”に取りかかりました。工具を初めて手にするクラブ員は、持ち方や回し方などをていねいに教わりながら、力いっぱい回していました。2～3人がかりでしたり、センターの方に手伝ってもらったりしてようやく目当ての部品が外れると「取れた～」「これはお家に持って帰る」とうれしそうにしていました。

アイデア作品に使える仕組みや再利用したい部品はありましたか？